

## 平成 26 年度 入学式式辞

本日ここに集われた学部・大学院・特別専攻科への入学生の皆さん、和歌山大学によろこそ。皆さんの入学を心よりお祝いいたします。

また、御臨席いただいておりますご家族の皆様にも、心から祝意をお伝えしたいと思います。

そして、本年の入学式は、和歌山大学の新たな歴史を刻むものであることを、まずはお伝えしたいと思います。和歌山大学では、本年4月、観光学研究科博士後期課程を開設し、第1期生として9人の学生を迎



えました。和歌山大学は、観光学の学部、そして大学院の修士課程（博士前期課程）と博士課程（博士後期課程）をもつ唯一の国立大学となり、日本における観光学研究のトップリーダーになること、世界水準の観光学研究の拠点となることが期待されております。本日観光学研究科博士課程入学の皆さんには、その第1期生として、この社会的要請に応えて頂きたいと思ひます。

さて、和歌山大学は、広く社会に「(和歌山大学は、)生涯 あなたの人生を応援します」というメッセージを発信しております。私は、学長として、今日ここで、皆さんにお会いしたわけではありますが、これから始まる皆さんの和歌山大学生としての生活を応援し、また、これからの皆さんの人生を、和歌山大学として応援するという決意をもって、ここに立っております。

そして今、この壇上には、私を含め皆さんを応援する和歌山大学関係者がお

ります。後程改めてご紹介いたしますが、皆さんから見て壇上左手におられますのは、和歌山大学後援会の奥村会長ほか副会長の皆さんと、学長アドバイザーを引き受けて頂いている原・大和証券名誉顧問です。こちらの皆さんは、和歌山大学のOBであったり、ご子息ご息女が、皆さんのように和歌山大学生であったりというご縁で、和歌山大学の様々な困難を援助、応援して下さっている方々の代表です。これからも、様々な場面で、皆さんの諸活動を支援して下さる方々です。

そして壇上右手には、和歌山大学の経営にあたります理事および皆さん方の学習・研究を応援する学部長等責任者がおります。

さて、学部入学生の皆さんは、今どんなお気持ちでしょうか。希望がかなって入学できたという方もいれば、「おめでとうと言われても」という気分の人もいるでしょう。人生は、複雑なものです。自分の思いどおりには行かないものです。しかし、過去は動かしがたいものですが、未来は自ら創りだすことができます。

私たち和歌山大学教職員は、皆さんが、未来を自らの手で創りだすことを応援したいと思います。そして、その姿勢を明らかにするものとして、学生の皆さんに向かい合う教職員の姿勢を宣言する「教育活動宣言」を、本日ここで、教育学生支援担当理事より公表いたします。

この宣言にそって、教員は、学生の皆さんの教育研究指導にあたり、職員は、皆さんの学生生活の支援にあたります。そして教育指導や学生支援の能力を自ら高めるために協働の研鑽に励むことを誓いたいと思います。

さて、本日から皆さんの大学での学びが始まります。今までの皆さんの学びは、自分の興味、好奇心を満たし、学ぶことの喜びを日々実感できるものでし

たでしょうか。単に大学入学というゴールにたどり着くための勉強だったのではないのでしょうか。しかし、そうであったとしても、それは日本の教育制度の中では仕方のないことであり皆さんの責任ではありません。



和歌山大学では、そうした皆さんを受け止め、皆さんが、これから生きていくに当たってのテーマを見出し、学ぶことの喜びを経験するプログラムや場を用意しています。

タイ、インドネシア、ベトナム等厳しい現実を抱える海外での異文化・異世界体験や、切実な課題を抱える和歌山の農村地域でのフィールドワークでは、多くの先輩学生が人生のテーマ、学びのテーマを発見してきました。そして、「いかに自分が無知であるか、他人の役に立たないかがよくわかった」と、学び行動することを喜びとする人へと成長していきました。

こうした過程に皆さんを迎え入れ、応援するのは、壇上右手に並ぶ国際教育研究センターを率いる国際交流担当の帯野理事であり、「教養の森」センター長の天野副学長であり、附属図書館の渡部館長です。皆さんが、訪ねれば、気軽に快く迎えてくれるでしょう。

皆さんのこれまでの18年余は、管理された学校生活という狭く閉ざされた生活だったことでしょう。切実な課題、しかも容易に答えの出せない課題と格闘する大いなるフィールドに出て、多くの人々と出会い、人間としての未熟と無知を自覚し、新しい学びの旅を始めて下さい。そして「様々に変化する状況に適応しながら、他者との関わりの中で、問題解決に向けて能動的に協働できる人（グローバルリーダー）」（和歌山大学国際教育研究センター発行『和歌

山大学でグローバルリーダーになろう』) を目指して下さい。

最後にご家族の皆さんに申し上げます。これまでの子育ての過程でのご苦労に心から敬意を表したいと思います。皆さんのご子息ご息女は、学力水準においては和歌山大学入学にふさわしい水準に達しておられます。他方、人間としての形成の到達については、いかに認識しておられるでしょうか。一人前の、自立した大人としての成長の段階を、どう認識しておられるでしょうか。

お子さんたちは、これからの学生生活のなかで、これから大小様々なトラブルに直面することと思います。例えば、本日からすぐに諸手続きが必要となりますが、最近心配いたしますことは、その手続きをご家族が代行したり、ご家族が質問や説明を求めたりするケースが少なくないことです。諸手続きを自ら行うこと、わからないことは自ら聞き様々な人に相談すること、これは、これからの人生にとって最も必要な訓練です。ご家族の皆様には、学生の自立への道を見守る姿勢で臨んで頂きたいと思います。

幸い今日は、多くのご家族の皆様にご臨席頂いております。本日のこのメッセージについて、ご家族で一度語り合ってくださいをお願いいたします。

皆さん、和歌山大学への入学、本当におめでとう。改めてお祝いの気持ちをお伝えし、歓迎の挨拶といたします。

2014年4月5日

和歌山大学長 山本健慈

## 教育活動宣言

和歌山大学教職員は、

- 本学に入学した学生の多様な思いを深く理解します。
- 学生それぞれの個性に応じたキャリアパスをともに考え、教育を推進します。
- 授業改善と学生の自立支援に取り組み、自己研鑽と自己変革を続けます。

### 実施項目

- 大学生としての自覚を促す導入教育
- 豊かな人間性を育てる教養教育
- 柔軟な社会性と対人関係力を育てる協働教育
- 地域や世界と対話できる能力を磨くグローバル教育
- さまざまな分野を牽引し活躍できる人材を育成する専門教育
- 主体性をもって社会に参画する人間力を身につけるキャリア教育



国立大学法人

和歌山大学